

年 組 名前：

甲州市塩山上於曾の塩山図書館分館（甘草屋敷子ども図書館）は、妖怪や幽霊に関する本を紹介する企画「おばけの蔵」を開いている。関連書籍約150冊を展示している



岡 達也
松本飛勇馬

おばけの本 怖さ3段階

甲州 甘草屋敷図書館 150冊展示



展示しているのは、妖怪や幽霊が登場する絵本や怪談など。職員が設定した3段階の「こわさレベル」に応じ、幼児から小学校高学年の子どもたちに薦めている。

ほか、会場に隠れた妖怪などを探すイベントや、オリジナルのおばけと記念撮影できるコーナーもある。

おばけや妖怪に関する書籍約150冊を紹介している甲州・塩山図書館分館
館内には、職員が段ボールなどを使って作った、ひもを引くと井戸からおばけが飛び出す仕掛けや、オリジナルのおばけなどと一緒に記念撮影できるコーナーも設置。館内に隠れたおばけや妖怪を見つけると参加賞がもらえるイベントも行っている。
企画は10月下旬までで、9月からは展示内容を一部変更する。午前10時～午後4時。

(2022年8月23日付 山梨日日新聞17面)

問1

塩山図書館分館の企画「おばけの蔵」では、どのような本が紹介されていますか。

.....

問2

本の紹介以外では、どのようなイベントやコーナーがありますか。

イベント

コーナー

問3

あなたが知っている妖怪や幽霊の名前を、たくさん書いてください。

.....